

令和5年度 地域自治組織情報交換会レポート

地域振興部地域振興課

令和5年11月17日（金）に地域自治組織情報交換会を開催しました。

今回は、市役所本庁をメイン会場、ZOOMで各支所サテライト会場と個別参加者をオンライン接続してのハイブリッド開催となり、社会福祉協議会をはじめとした関係団体にもご参加いただきました。

第一部では合同会社フォーティR&Cの水津陽子さまより「事業の見直しと担い手の確保」をテーマにご講演いただき、第二部ではメイン会場の参加者で各団体の取り組みや課題などについて情報交換を実施しました。

第一部 水津陽子さま ご講演 ～事業の見直しと担い手確保～

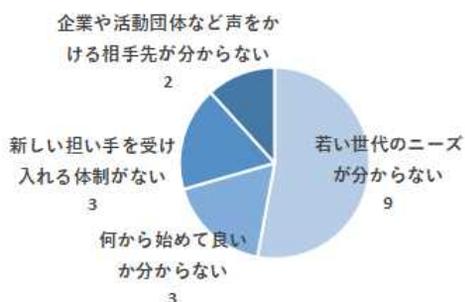


第一部の水津さまによるご講演では、事前に参加団体に回答いただいたアンケートの結果をもとに、各団体が取り組んでいること、検討していること、課題に感じていることなどに対するコメントいただきました。

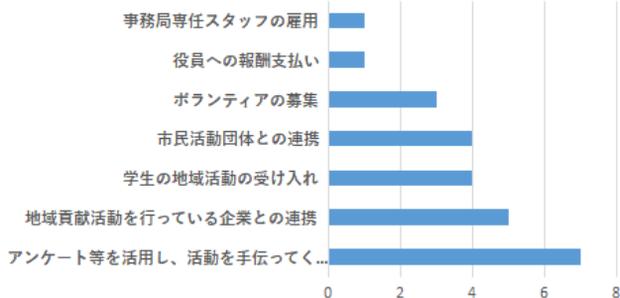
特に、担い手確保の課題として多くあげられた「若い世代のニーズが分からない」という意見に対しては、ニーズを知るための手法としてアンケートやグループトーク・インタビューを実施する際のポイントや、他市の事例として、負担なく自治会活動に協力できる「ゆるさぼ」という仕組みなどをご紹介いただきました。

また、若い世代と出会うきっかけ作りとして、町内一斉清掃などの既存の活動に、若い世代を意識した名称や広報デザイン、清掃後に交流タイムを設けるなど、ひと工夫加えることで、参加したくなる活動へ変化させていけることを教えていただきました。

担い手確保の課題



これから取り組んでいきたいこと



第二部 メイン会場参加者による情報交換



第二部では、参加者による情報交換を行いました。3つのグループに分かれ、各団体の取り組みや課題などを共有・発表していただきました。

役員の任期が1,2年のため慣れてきた頃に交代があり見直しが進まない、子ども会の休会などが広がるなか転居してくる人に地域にどう馴染んでもらうかといった多くの団体で共通した課題があがる一方で、地域活動にポイント制を導入し効果をあげている団体や、防災を切り口に繋がりを深めている団体など、独自の取り組みを進めている団体もありました。また、職員にもっと地域と関わりを持って欲しいとの声もありました。

限られた時間ではありましたが、終了後には参加者間での連絡先の交換や意見交換が行われるなど、繋がりのきっかけとなる場となりました。

感想・ご意見

- ・若い人に興味をもってもらうために、若い人に聞くことから始めたい
- ・日頃、他の自治会役員と話す機会が少ないため、同じ悩みを持つ者同士話しができて有意義だった
- ・自治体⇄町内会の対話がもっと必要
- ・もっと情報交換の時間が必要である
- ・理想と現実にギャップがある
- ・分かり易い語り口で納得できた
- ・先生の解説が良かった
- ・やらないとダメと背中を押してもらった
- ・色々な取組事例が参考になった
- ・メンバーや時間設定などより幅広く本音で意見交換できる環境づくりに配慮してもらいたい

質問

<子ども会を巻き込むには？>

子ども会に関わっている親御さんたちの声を聞いたり、声をかけて話をしてみるなど、相手のニーズを知ることから始めてみてはどうでしょう。

<役員交代がスムーズにいか不安>

まずは会として今後のことについて話し、方針を立てていくことかと思えます。できるできないを考えて何もしないのではなく、小さなことでもいいので取り組んでみましょう。

地域情報
コーナー



各団体の広報誌などを展示。椅子に腰掛け熱心に閲覧されている方もいました。